

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 29 年 1 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

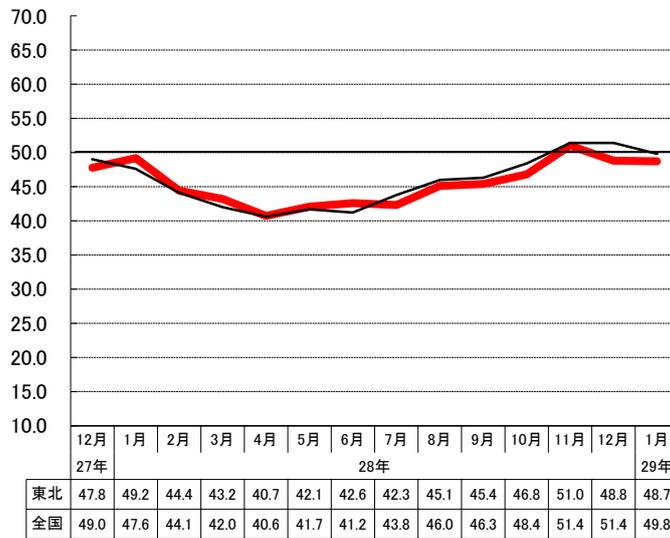
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 29 年 1 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断 DI は「48.7」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.1 ポイントとわずかに下回った。

現状判断DIの推移

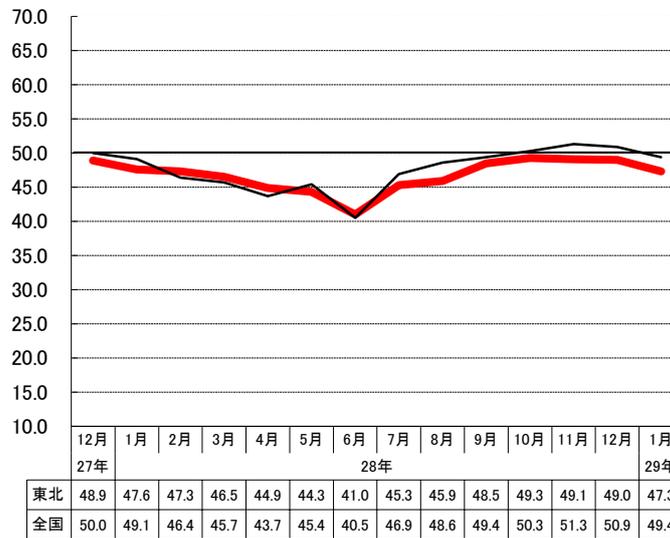


— 東北 — 全国

(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断 DI は「47.3」と3か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.7 ポイントとやや下回った。

先行き判断DIの推移



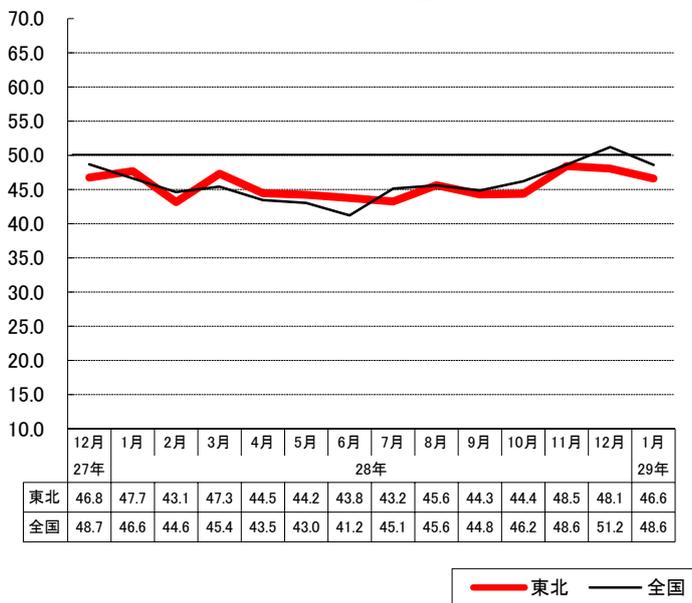
— 東北 — 全国

2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「46.6」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.5ポイントとやや下回り、18か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。

現状判断DIの推移



・家計動向…高級レストラン、住宅販売会社、コンビニ等でDIが前月を上回ったが、一般レストラン、都市型ホテル、観光型ホテル等の業種でDIが前月を下回った。DIは「46.0」(▲0.6)と2か月連続で前月を下回り、基準値50を20か月連続で下回った。

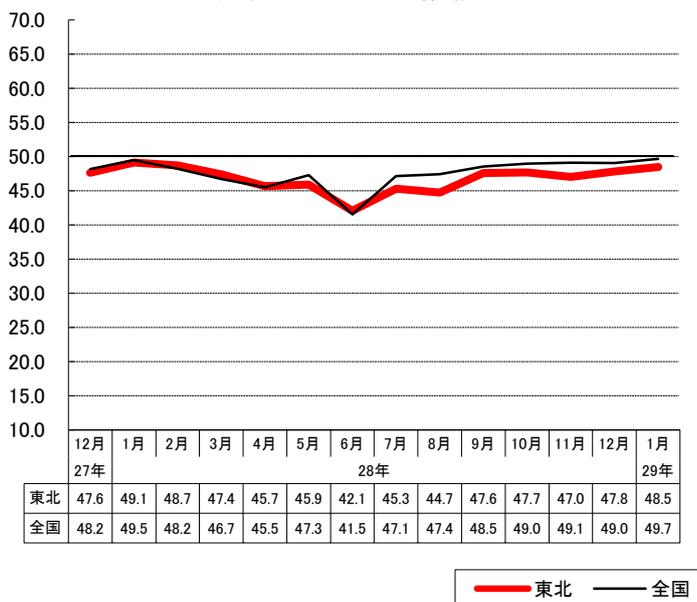
・企業動向…金融業、その他非製造業、その他企業動向を把握する者等でDIが前月を上回ったが、司法書士・経営コンサルタント、家具及び木材木製品製造業、輸送業等の業種でDIが前月を下回った。DIは「46.3」(▲3.1)と3か月ぶりに前月を下回り、基準値50を10か月連続で下回った。

・雇用動向…DIは「51.1」(▲3.7)と4か月ぶりに前月を下回ったが、基準値50を4か月連続で上回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「48.5」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.7ポイントとわずかに上回ったが、19か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。

先行き判断DIの推移



・家計動向…都市型ホテル、乗用車販売店、スーパー等の業種でDIが前月を下回ったが、観光型ホテル、一般レストラン、一般小売店等の業種でDIが前月を上回った。DIは「47.4」(+0.4)と2か月連続で前月を上回ったが、基準値50を19か月連続で下回った。

・企業動向…家具及び木材木製品製造業、金融業、司法書士・経営コンサルタント等の業種でDIが前月を下回ったが、それ以外の業種では前月からDIが横ばいもしくは上回った。DIは「50.6」(+3.1)と2か月連続で前月を上回り、基準値50を10か月ぶりに上回った。

・雇用動向…DIは「51.1」(▲2.5)と、4か月ぶりに前月を下回ったが、4か月連続で基準値50を上回った。

<参 考>

■D Iの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	27年	28年												29年
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北現状	46.8	47.7	43.1	47.3	44.5	44.2	43.8	43.2	45.6	44.3	44.4	48.5	48.1	46.6
家計動向関連	45.7	47.3	41.7	46.6	42.5	42.4	43.2	42.2	44.4	43.3	43.7	47.4	46.6	46.0
企業動向関連	47.4	47.0	46.2	50.0	46.9	46.7	42.5	43.6	48.0	47.5	42.5	48.7	49.4	46.3
雇用関連(参考)	52.3	51.1	46.6	46.4	52.5	51.3	50.0	48.9	48.9	44.3	52.3	54.5	54.8	51.1

（2）先行き判断D I

	27年	28年												29年
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北先行き	47.6	49.1	48.7	47.4	45.7	45.9	42.1	45.3	44.7	47.6	47.7	47.0	47.8	48.5
家計動向関連	46.6	48.8	49.1	46.5	44.8	44.7	43.6	45.0	42.6	47.4	47.0	46.1	47.0	47.4
企業動向関連	46.1	49.4	44.9	50.0	46.9	48.0	36.3	44.2	48.7	47.5	48.8	46.7	47.5	50.6
雇用関連(参考)	56.8	51.1	53.4	48.8	48.8	50.0	43.8	48.9	51.1	48.9	50.0	53.4	53.6	51.1

※D I（Diffusion Index）について…50を基準とし、50を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成29年1月25日～31日

回答者数 198/210名、回答率94.3%(全国1,867/2,050名、91.1%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：菅場 喜樹）
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（商店街）…天候に恵まれた初売りは来客数が好調で、購入単価も若干上昇したという店舗も見受けられる。また、賛否両論があるものの、初売りと同時にもしくは引き続いてのセールでは、各店舗ともに微増ではあるものの売上が増加しており、商店街全体に貢献をしている。

（百貨店）…初売りは非常に好調であったが、クリアランスセールは立ち上がり時の降雪の影響で振るわなかった。ただし、天候回復後は、セールスタート時に来店できなかった客の増加で、来客数及び売上は回復している。また、現在開催中のバレンタインイベントも絶好調であり、シャワー効果、噴水効果により、全館で売上がプラスとなっている。

（乗用車販売店）…例年と比べて雪が若干少ないこともあり、3月以降に購入予定であった客からの前倒しの受注が徐々に増えてきている。

（ショッピングセンター）…前年駅前に新規オープンした商業施設は、それなりの集客をしている様子である。

（高級レストラン）…レストランの来客数や客単価の動向をみると、少しずつではあるが上向きになっており、消費に対する意識の改善がみられている。特に高単価商材の販売数が大きく伸びている。

（通信会社）…新年になり、新規加入者は少ないものの、解約者が12月から減少を続けているため、契約者総数に大きな変動はない。また、豪雪地帯にありながら、これまでにない穏やかな天候も影響しているのか、消費者の財布のひもも多少緩んでいる様子である。

（飲食料品卸売業）…県外向けの出荷が回復しており、10月と比較して販売量は改善している。

（人材派遣会社）…機械系メーカーを中心に、求人数が伸びている。増産や東北への事業移管、新部門立ち上げに伴うというケースが多いため、今後も好況が続くことが見込まれる。

○「変わらない」

（スーパー）…11～12月は前期実績を確保できない状態が続いたが、1月に入り前期実績を確保できる状態になっている。また、大雪が続いてまとめ買いの傾向が強まっており、客単価が増加している。

（コンビニ）…全体的には大きな変化はないが、東北では東日本大震災復興による需要が減少している。また、積雪量が例年より少ない状況も、除雪業者の経営にはマイナスとなっている。

（家電量販店）…季節商材が好調であり、前年と比較して2けたの伸びとなっている。白物家電はやや数字を落としているものの、テレビなどの映像関連商品は前年を若干上回っている。米国の新大統領就任による影響など不安要素はあるものの、全体として、客の購買意欲は前年並みで推移している。

（住関連専門店）…受注物件の数量は増えてきているが、単価がなかなか上がらない。

（白衣・ユニフォーム専門店）…このところ、今までないほど問い合わせがきているが、なかなか成約にはつながらない。大手の販売店が、大口の案件が減少した分を取り戻すためにかなりこまめに営業をしている様子である。今後の値崩れが心配である。

（都市型ホテル）…数か月前より好調に推移していた予約状況に陰りがみえ始めてきている。また、フリーの来客数も減少傾向にあるため、停滞気味の予約受注状況と合わさって、今まで改善してきた業績が鈍化し始めている。

（旅行代理店）…3か月前と比較して、国内旅行の店頭申込の落ち込みに変化はないものの、インターネットでの申込は好調である。海外旅行については、依然としてヨーロッパなどの遠距離地域の申込状況に変化がない。

（観光名所）…1月上旬まで開催していたイベントの終了後は、来客数の落ち込みが激しい。月下旬はインバウンド客を見込んでいたものの、思ったほどの来客数ではない。

- (美容室) …寒い時期のため客足が遠のいており、いつもよりも来店の間隔が長くなっている。
- (住宅販売会社) …戸建については計画どおりの受注はあるものの、そこから上乘せするだけの受注残がない。
- (木材木製品製造業) …住宅部材の需要は活発であるが、価格競争により収益の改善が進んでいない。
- (出版・印刷・同関連産業) …Webなどの普及により、印刷業の需要が少しずつ減少している。また、同業者間での受注競争があり、受注価格が低下している。
- (電気機械器具製造業) …半導体に関連する受注が、通常の下請の枠を超えて広がっているため、順調に推移している。
- (経営コンサルタント) …復興特需が終息することに伴い、建設関連企業では事業構造の転換を迫られつつある。
- (新聞社[求人広告]) …求人数の動き自体にはあまり変化はないが、業種による偏りが更に目立ってきている。運送業などの成り手が少ない業種は、慢性的な人手不足が続いている。
- (職業安定所) …新規求人数、有効求人数共に、前年同月比をわずかに上回っている。しかし、半数以上は更新求人であり、なかなか企業は人材を充足できていない様子である。

○「やや悪くなっている」

- (医薬品販売店) …月前半は順調であったが、寒さが厳しくなってきた後半からは、急に来客数と客単価が悪化しており、店頭で活気のない状態が続いている。処方せん調剤の客からは病院が空いているという話もあり、全体的に外出を控えている様子がうかがえる。
- (一般レストラン) …年末年始にお金を使った後であるため、例年1月は暇であるが、今年は特にその傾向が強まっている。ランチの客もかなり少なく、新年会ムードもあまりみられていない。
- (観光型旅館) …直前割、直前申込特典など、割引率が高いプランへの申込やプラン変更などが、多くなってきた。
- (建設業) …豪雪などにより工事着工ができず、営業にも影響が表れている。
- (輸送業) …取引先の生産が計画どおりに進んでいない。そのため、物流は減少気味で推移しており、しばらくは様子見をしなくてはならない。

○「悪くなっている」

- (衣料品専門店) …今年の初売りは曜日の関係で4日の集客が非常に困難になっている。その落ち込み分を3日までの売上でカバーしきれず、初売り商戦は大きく縮小している。また、30~40歳台の来客数の落ち込みも続いている。景気は悪くなっているのではないかと懸念されている。
- (広告業協会) …前年12月から続いている新聞、テレビの主要メディアの受注の落ち込みは、新年に入っても回復の兆しがみえていない。また、折込広告も引き続き低迷している。さらに、中心部の百貨店が、駅前に新規オープンしたショッピングセンターに客を取られており、大きく落ち込んでいる。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

- (衣料品専門店) …入学、就職のフレッシュな客層による、客単価の上昇に期待をしている。
- (一般レストラン) …これから先、雪が解けて何をやるにも楽な時期になり人出も増える。また、歓送迎会のシーズンとなるため、現在よりは景気が上向くとみている。
- (観光型旅館) …卒業、入学、人事異動など、何かと人の動きが多くなる時期は、宿泊、宴会の利用が多い。
- (観光名所) …今年も降雪が少ないため、春先の営業に期待が持てる。
- (電気機械器具製造業) …業界の再編や設備投資が進み、景気は良い方向に推移するとみている。
- (建設業) …受注量もあるため、この先の景気はやや良くなるとみている。
- (広告代理店) …市町村によるコンペの案件が多く出てきているため、多少の明るい兆しがみえてきている。

(公認会計士) …3月にかけては工事の完了検査などの関係で建設関係は忙しくなる。また、小売関係も春物商戦で若干の上向きが見込まれる。

(人材派遣会社) …メーカーの設備投資は堅調である。また、2～3年後を見据えた新部門の立ち上げなど、積極的に投資をしていく方針を掲げている企業が増えている印象がある。

○「変わらない」

(百貨店) …冬物商戦では防寒コートが苦戦しているが、その反動により、セールでは防寒アイテムが非常に好調である。オケージョン用途も動きが早く、好調に推移している。ただし、2～3か月先においては、特別な要因でもない限り、売上が増加することは考えにくい。

(コンビニ) …客の出足が悪い冬の時期を脱すれば、多少は改善するかもしれないが、期待できるトレンドが見当たらない。現状より悪化しないことを望むばかりである。

(酒類専門店) …雪に対する負担がある程度軽くなる分、消費者には余裕が出てくる。しかし、地方ではまだまだ先行きが不透明であることに変わりはなく、楽観視はできない。

(出版・印刷・同関連産業) …入学、進学シーズンであり、年度切替もあるため期待しているが、現在の受注量は横ばいで推移している。

(金融業) …基本的には持ち直し傾向は継続している。ただし、米国の新大統領の言動が金融市場に与える影響や、天候や漁獲状況などが地元経済に与える影響に関して留意する必要がある。

(飲食料品卸売業) …最近の外食産業では、団塊世代が本格的に定年を迎えた影響なのか、居酒屋の前年割れが続いている。団塊世代と若者の消費マインドは全く異なるため、今後も仕事帰りの一杯は増えそうにない。

(職業安定所) …求人窓口や事業所窓口の感触では、全体的に人手不足が継続する見込みである。ただし、製造業では今後の世界経済の動向を不安視しており、建設業においては長期的な業務の縮小を予定している。

(学校就職担当者) …事前の採用計画を確認したところ、新規採用や増員を予定している企業は少なく、状況に大きな変化はない。

○「やや悪くなる」

(商店街) …例年のことであるが、1月初旬の勢いは継続しない。また、当商店街は空前の活況を呈している駅前地区から最も遠く、近年は中央資本、サービス関連業、飲食店などの進出が著しいことも踏まえれば、対応策構築が急務であるといえる。

(スーパー) …ガソリン価格高騰の影響により、食品など、商品の動きが鈍る可能性がある。

(都市型ホテル) …宴会などの法人利用は、来月以降の先行予約が減少気味であり、全体的には厳しい状況である。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上